

## 大会運営のあり方について

### 1 検討と素案

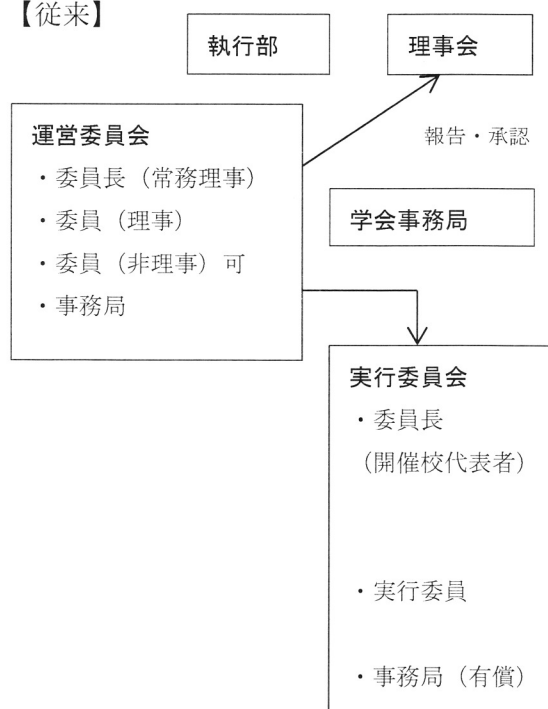
- ・2019年11月、第8回組織運営委員会で大会運営のあり方を検討し、今後の調整に付すため、下記のとおり「大会運営規程のあり方(素案)」を作成した。

#### ■大会運営規程(仮称。以下同じ。)のあり方(素案)

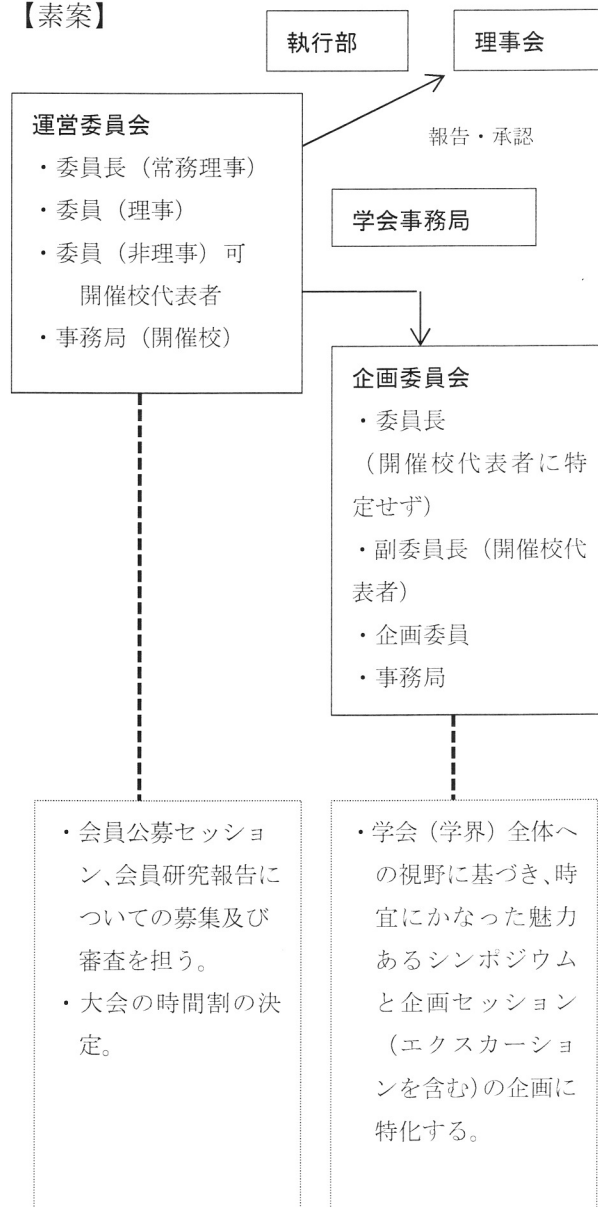
組織等	根拠規定	現行の課題	組織等	根拠規定	改訂案
①大会運営委員会	・委員会細則 ・別表	・理事委員が全国に散在。大会実行委員にならない限り、大会の企画、実施への関与が薄い。	①大会運営委員会	・委員会細則 ・別表 ・大会運営規程	(構成) ・理事委員。 ・開催校代表者は前年度から大会運営委員とする。 (任務) ・大会企画委員長を含む企画委員を選定する(理事会報告承認事項)。 ・会員公募セッション、会員研究報告についての募集及び審査を担う。 ・大会の時間割の決定。
②学会事務局		・学会会員の窓口として、大会実施においても一定の役割期待。	②学会事務局	・大会運営規程	(任務) ・学会会員の窓口。 ・会員公募セッション、会員研究報告の受付、構成を担う。 ・大会概要集の編集・発行を担う。
③大会実行委員会		・実行委員長が開催校代表者。実行委員長が実行委員を選。学会(学界)全体への視野も期待。開催校の実施運営上の責任者。	③大会企画委員会	・大会運営規程	(構成) ・大会運営委員会が企画委員長を含む企画委員を選定する。その際、開催校代表者、学術研究委員会委員(長)、編集委員会委員(長)は必ず企画委員とする。 ・開催校代表者は、企画委員会副委員長を兼任する。 ・企画委員会に事務局を置く。学会事務局と適切に連携する。 (任務) ・学会(学界)全体への視野に基づき、時宜にかなった魅力あるシンポジウムと企

					画セッション（エクスカーションを含む）の企画に特化する。その際、自らコーディネーター等にならなくてもよい。
④大会 実行委 員会事 務局		・ 開催校関係者。事 務局長は有償化。	④開催 校事務 局	・ 大会運営規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催校関係者。</li> <li>・ 開催校代表者は、企画委員会副委員長を兼任する。有償とする。</li> <li>・ 大会運営委員会の（審査の）事務局を担う（企画委員会の事務局は担わない）。</li> <li>・ 大会マニュアルを補充し、次期大会へ引き継ぐ。</li> </ul>

### 【従来】



### 【素案】



## 2 今後の進め方

- ・12月理事会

組織運営委員会から、「大会運営規程のあり方（素案）」を報告、説明。

- ・1月中旬まで

大会運営、学術研究、編集の3委員会（委員長）に意見伺い。

- ・1月下旬

第9回組織運営委員会で「大会運営規程骨子案」を作成。

⇒ 3委員会（委員長）に意見伺い。

- ・2月上旬

組織運営委員会（電子メール委員会も想定）で、  
意見照会結果に基づき「大会運営規程案」を作成。

⇒ 3委員会（委員長）に確認。

- ・2月理事会

各委員会の共同提案により付議。

↓

- ・6月、次期理事の選任、大会運営委員会の組織化。

↓

（上記素案に準拠した場合）

- ・7月頃～

大会運営委員会が、執行部の意見を踏まえて企画委員長及び企画委員の選定。

2021年の年次大会企画委員会の設置。

↓

- ・大会運営委員会、企画委員会、学会事務局、開催校事務局の分担・連携により準備。